

■米国：DOE 長官がユッカマウンテン計画の見直しを言明

スティーブン・チュー米国エネルギー省（DOE）長官は 2009 年 3 月 5 日、DOE の研究開発計画を審議するために開催された上院エネルギー天然資源委員会の公聴会において、ユッカマウンテン計画の見直しを言明した。チュー長官への質疑応答で、ジョン・マケイン上院議員（共和党、アリゾナ州）が、「オバマ政権が使用済み核燃料や高レベル放射性廃棄物の最終処分場としてユッカマウンテンを選択肢に入れていないというのは本当か」と質問したのに対し、チュー長官は「その通りだ」と回答した。長官はさらに、使用済み核燃料は当面、サイト内で安全に貯蔵することができるとした上で、使用済み核燃料の再処理を含め、放射性廃棄物をどのように扱うかについての包括的計画を検討する専門委員会を年内に設立することを明らかにした。また、ユッカマウンテン処分場の代替候補については回答を避けた。オバマ大統領は 2009 年 2 月 26 日に発表した 2010 年度予算の概要において、「政府が放射性廃棄物の新しい処分方法を検討する間、ユッカマウンテン計画については原子力規制委員会（NRC）の許認可審査の必要経費のみに限定する」と表明していた。